



身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2021.7.23

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)10:00より(雨天中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail

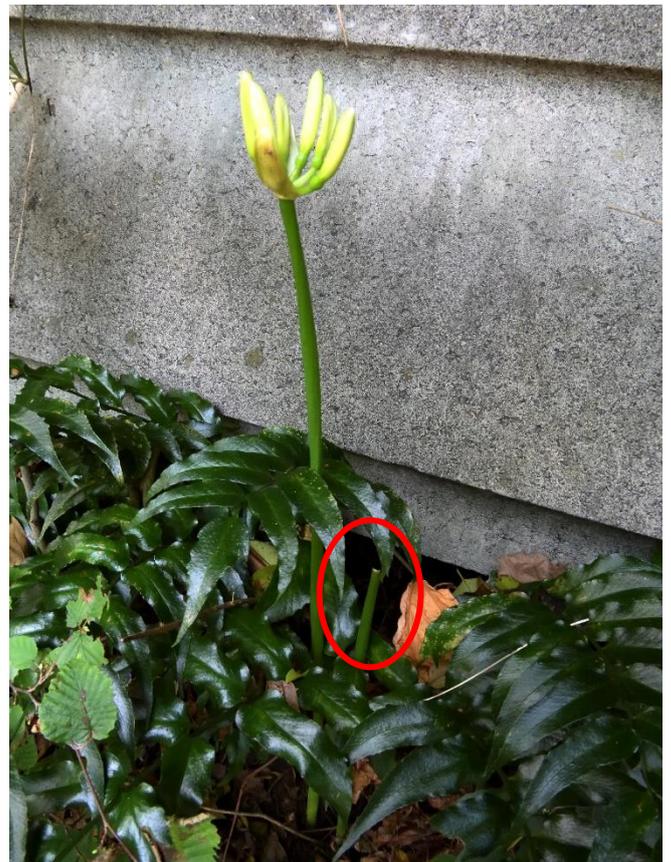
8、9月の石神井川観察は、8/12(木)、8/27(金)、9/9(木)、9/24(金)
10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもと出発



猛暑の不快よりも腹が立つ シロバナヒガンバナ を盗むヤツ

オリンピック・パラリンピックが始まったこの日、暑かったですね。

石神井川緑道では4年前から7月の終わりになるとシロバナヒガンバナが咲きます。昼と夜の時間が同じになる秋分(お彼岸)の頃に咲く赤い花のヒガンバナとは開花期が異なり違う種と考えると良いと思うのですが、7/23は今年初めて観察しました。が、右の写真の2本の花径のうち、右側が元から切り取られていました(赤マーク)。珍しい花が「誰のものでもない道路」に生えているから持って行っても構わないと考えている人がいるのでしょう。でも、ここは公有地。公有地は「みんなの財産」ではあっても、誰か一人のためだけの財産ではないことをわきまえてもらいたいものです。この民意の低さが社会をダメにしていると思うと頭がくらくらしてきました。



「変な感じの花」第2弾！

前回、いつも見るのとはイメージが違う花を紹介しましたが、まだあるある。



↑ **アカメガシワ**の実。普通はもっとスマートなのに密集してもっこり。

↑ こちらは園芸品種としてつくられた小型の**サルスベリ**。花房はこんなにもっこりしていなかったはずなのに・・・。

7月の紅葉 何を意味する？



↑ **ビヨウヤナギ**が部分的に紅葉。なぜかは??

ススキ
は開花→



↑ **ソメイヨシノ**は、落葉樹の中で最も早く紅葉するのですが、7月にもう葉が赤くなっているのはどう考えて変です。今年の春の満開期に「老木が多く、樹勢が衰えている」とコメントしましたが、この株もそのうちの1本です。異常気候がもたらした自然の変化だけでなく、人による植栽も、植えればよいというわけではない複雑な問題が起きています。

月2回の石神井川緑道観察は8月、9月も続けます。